

議会です こんにちは

もくじ

- P 10 ・市民と議会の意見交換会
- P 11 ・各常任委員会からの報告
- P 12~14 ・第2回定例会一般質問項目
 - ・熊本地震災害への義援金
 - ・議会基本条例の検証
- P 15 ・地方創生及び総合計画に関する特別委員会からの報告
- ・各組合議会からの報告
- P 16 ・平成27年度 留萌市議会議員出席状況
- P 17 ・こんなことが決まりました
 - ・かずの子条例制定検討委員会が発足
 - ・選挙権は18歳から ほか

「市民と議会の意見交換会」を開催します

あなたの声をお聴かせください

とき 8月9日(火) 18:30~

ところ 留萌市保健福祉センターはーとふる
(2階 多目的ホール)
留萌市五十嵐町1丁目

※参加のお申し込みは不要です
※託児室をご用意しています

託児を希望される方は、前日(8日)までに議会事務局(☎42-1907)へご連絡ください



テーマ① 留萌市第6次総合計画の策定に向けて
今後10年間の留萌について一緒に話し合ってみませんか？

テーマ② かずの子条例制定に向けて

5月5日が「かずの子の日」に認定されました。かずの子生産日本一を誇る地元留萌として、新たな消費拡大を促進するために、さまざまなカタチで応援しましょう。

留萌市議会議員提案による、新しい条例制定に向けた委員会が発足しました。

第1常任委員会からの報告

4月26日、第1常任委員会は、地域振興部から、お茶の間トークの市民周知や平成28年度市民満足度アンケートの実施、市民農園の開設状況などについて報告されました。

市民農園は、昭和63年から開設された事業で、5月3日から10月31日まで、東雲町3丁目(芳賀氏圃場)で開設を予定。1区画2500㍓6千円で利用できます。



▲市民が気軽に利用できる市民農園

また、留萌港三泊地区環境整備事業の整備概要について石炭運搬時の落下防止の対策強化への説明がありました。

特に運搬業者への啓発通知、臨港道路内に移動式ゴム製ハンブの設置や石炭運搬車両等監視用防犯カメラを設置して、違反の抑止を図ること

が報告されました。



▲車両に付着した石炭などを振動で振るい落とすための移動式ゴム製ハンブ

都市環境部からは、27年度除雪対策について、船場公園の供用開始春の「留萌の街をきれいにする週間」の実施について報告を受けました。

5月24日の常任委員会は、第2回定例会に提案される補正予算などについて審議しました。



▲イベントでにぎわう船場公園

第2常任委員会からの報告

4月27日の第2常任委員会において、市民健康部から「留萌市地域福祉計画(平成29~34年度)」策定の概要(素案)と「留萌市健康づくり計画」(平成29~38年度)策定の概要(素案)が提示されました。

また、市内の公衆浴場(浪華湯)の現状と市の対応について報告がありました。市内最後の銭湯が5月末で廃業されることで、利用者の今後の動向を懸念。各委員から、自宅風呂の有無や市民の衛生面の市の対応策について質問が出ました。

留萌市教育委員会からは、留萌高校・留萌千望高校の統合進捗状況について、29年度末に両校の閉校、留萌千望高校の校舎を整備した新設校が開校することが北海道教育委員会



▲平成30年度から留萌千望高校を整備し新設校として開校

(道教委)から提示されました。市長、教育長が道教委に対し教育環境への配慮を働きかけていることなどを確認しました。

留萌市学校ICT整備計画(仮称)の策定、デジタル教材活用推進事業の現状と潮静小でのICT活用について報告されました。

また、文化センター等施設の建て替えに係る検討組織と給食センター調理機器更新計画の28年度のスケジュールについて確認しました。

市立病院からは、27年度のプチ検診の実績について、ピロリ菌検査の受診者は増加傾向にあることを確認しました。5月26日の常任委員会は、第2回定例会に提案される補正予算などについて審議しました。



▲簡単な申し込みの「プチ検診」によりピロリ菌検査などの受診が可能

平成28年第2回定例会

「股質問と答弁を」
ご紹介いたします

米倉 靖夫 議員

(無会派)

問一 産学官連携について

市における漁業を取り巻く環境は、海獣による漁獲物被害や魚食離れによる消費低迷、さらに漁獲量の年変動が大きい。また、安定な漁業経営が見込めないなど、より一層厳しさを増している。このような状況から、安定的な漁業経営を目指すため、東海大学や公立はこだて未来大学との産学官連携ではどのような成果があるのか伺いたい。

答一 東海大学とは、磯焼け対策や増養殖試験に取り組み、大学所有船による海洋実習なども実施してきた。

公立はこだて未来大学とはICT技術を駆使したナマコ資源管理システムの開発などに取り組んできた。今後も連



▲海洋実習に取り組む東海大学生

携事業を実施し、漁業経営の安定化につなげていくため、技術開発や地域経済全般にわたる波及効果を期待している。

問二 専門的な人材確保について

各大学との産学官連携による共同事業の実施により得られた技術を生かすため、実践的に運用可能な専門的人材の確保も必要であると考えている。

大学生が随行し、地域漁業者と共に技術開発に向けた問

坂本 茂 議員

(無会派)

問一 公衆浴場の確保は国・

地方自治体、留萌市の責任 公衆浴場は、市民が健康で文化的な生活を過ごす上で欠かせない施設。自宅に風呂がない場合はもちろんのこと、家に風呂があっても銭湯に入浴しつつコミュニケーションの場として、また、高齢化とともに一人暮らしが増える社会にあっては、閉じこもりにならないためにも大切な役割を担っている。

市内唯一の銭湯が5月末日をもって廃業した。このことは、市民の安心と安全、健康に責任を持つ行政機関として放置できない課題である。

国が、「公衆浴場の確保に関する法律」を制定し、国と都道府県、市町村に公衆浴場確保のための責任を課せていることは重要。

市民の入浴の機会を確保することは、市民が日々衛生的で健康な暮らしを送る上で欠かせない課題。市内の温泉施



▲コミュニケーションの場としても大切な役割を担う公衆浴場

設までは遠く、公共交通機関がない。市の公衆浴場(銭湯)確保、市民の入浴機会確保のための取り組み、対策の現状はどのような状況にあるのか。入浴の機会を失って困っている市民の救済をどうするのかを伺いたい。

答一 3月に廃業の情報を得た後、関係者と面談した。

市では、公衆浴場の経営の安定と合理化を促進し、その保護を図るとともに市民の保健衛生の向上を期することを目的とし、設備整備事業補助金を平成7年度に創設し、公衆浴場の確保に努めてきた。

しかしながら、利用客の減少や燃料代の高騰による経営上の課題もあることから、補

題点や解決策を共有し、留萌への関心を深めてきたと思われる。このような現状から、地元高校生の両大学への進学、市内への就業のサイクルの構築が人口減対策も含め必要であると考えているが、市長の考えを伺いたい。

答二 水産業振興、地域振興、人口減少対策における人材確保は重要な課題であると考えている。専門的な人材確保に向け、大学との連携を強化し、地元水産業の安定化や高所得化を図るなど魅力あるものにする必要がある。

大学との連携をさらに強化し、地域優先枠の確保など、地元の高校生が進学しやすい環境づくりを大学側と研究していきたい。

笠原 昌史 議員

(民進党)

問一 市の高齢者福祉について

市には、高齢者の総合相談窓口ともいべき地域包括支援センターが設置されており、高齢者の方が寝たきりな



▲高齢者の暮らしをサポートするための相談窓口「地域包括支援センター」

どの介護が必要な状態にならないよう運動教室の開催や適切な介護保険サービスや福祉サービスの紹介など、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、専門のスタッフによる指導や支援が行われている。

この地域包括支援センターの利用および相談件数と、高齢化が進む社会状況で、今後増えることが予想される高齢者が高齢者の介護を行う「老老介護」および認知症の方が認知症の方の介護を行う「認老介護」の実状などについてお伺いする。

答一 市地域包括支援センターの平成27年度の相談件数は1525件で、来所面接や電話、訪問により受付し、そ

報提供の動きはどうなるのか。

答二 道教委へ出向き、新校舎となる留萌千望高校の改修について要望とスケジュールの情報提供を依頼。今月中に道教委の説明会開催を確認した。

留萌高校校舎利活用については、道教委からの情報はない。今後、北海道の利活用の方策がない場合、市全体で利活用を検討し方策がある場合は、北海道から譲渡されることを想定される。

問二 JR留萌線とまちの姿 JR留萌線の留萌増毛間(16・7キロ)が12月4日の最終運行をもって廃止が決定した。廃止同意に係るJRから示された条件に対する市の対応を伺いたい。特に地域振興のための整備事業について内容を聞きたい。

JR留萌線の留萌一深川間は、廃線してはいけない。生活路線である重要性を考え、沿線自治体との連携した協議・検討が重要。経過と今後の動きについて聞きたい。



▲JR留萌線終着の増毛駅

問一 JR北海道から無償譲渡される鉄道用地や付帯排水設備、橋りょうなど安全性を調査する。結果に基づきJR北海道の負担で撤去するなど、安全対策を実施する。

鉄道用地の利活用については、安全性の確認調査を踏まえ、水道事業も含めて検討したい。持続可能な公共交通網の形成が求められていることから、限られた資源を有効に活用し、今後も沿線自治体や関係機関と連携して情報共有しながら取り組んでいきたい。

戸水美保子 議員

(留萌公明党)

問一 地方創生推進交付金事業について

地方創生及び総合計画に関する特別委員会からの報告

「地方創生及び総合計画に関する特別委員会」では、第1分科会、第2分科会に分かれ、第5次総合計画の検証を行ってきました。

検証作業を経たなかで出された課題・問題点をもっと大きな視点で集約し、第6次総合計画の基本構想に反映させるため、5月27日、特別委員長より議長に要望書を提出。同日、議長から市長に対し「第6次留萌市総合計画（基本構想）の策定に関する要望書」を第5次計画の検証調査を添えて提出しました。

特に第5次総合計画の基本構想を単に踏襲することなく、これまでの経緯や人口減少対策、6次産業化を含む農・林・漁・水産・商工連携による経済の活性化と新たな地域間交流を含めたにぎわいの創出など、政策課題を踏まえた新たな取り組みが必要です。

また、財政健全化中の負のイメージを払拭し、より分かりやすく、市民、団体、企業や行政などが共有の認識で連携を図り、一丸となってまちづくりに取り組める指針となるよう、持続可能な自治体の実現に向けた計画の策定について強く要望しました。

今後は、第6次総合計画の調査研究、審査を第4回定例会（12月）を目途に進めていきます。



▲要望書を市に提出する特別委員会のメンバー

留萌消防組合議会からの報告

第2回臨時会を平成28年6月30日に開催しました。本臨時会では、「平成28年度留萌消防組合補正予算（第1号）」「動産の取得について（水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型）」、新制定条例である「留萌消防組合行政不服審査会条例制定について」「北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について」「北海道市町村総合事務組合規約の変更について」の5件を審議し、可決しました。

また、臨時会開会前に開催された28年第2回留萌消防組合全員協議会では、留萌消防組合議会行政視察行程の説明を議会事務局から受けました。

留萌消防組合議会行政視察は、組合議会の4年間の2年目に実施し、7月21日、22日の両日、道北地方の稚内地区消防事務組合、南宗谷消防組合において、女性消防吏員の登用、消防団の装備品の整備状況などについて視察しました。

当組合議会では、留萌消防組合の女性消防吏員の登用の参考とし、常時消防の充実に努めていきます。

留萌南部衛生組合議会からの報告

留萌南部衛生組合（留萌市・増毛町・小平町）は、し尿処理、火葬場、一般廃棄物に関する共同処理を行っています。6つの施設があり、その1つ「有害鳥獣焼却施設」は小平町の生ごみ施設と隣接し、有害鳥獣焼却炉（工事費約2,830万円）が設置されています。平成26年4月に供用開始されました。

3市町指定の有害鳥獣は、留萌市はエゾシカ、アライグマ、増毛町はエゾシカ、カラス、アライグマ、ネズミ、小平町はエゾシカ、アライグマとなっており、その他、道路などで死亡した動物（エゾシカ、キツネ、タヌキ、カラス、ネコなど）が焼却されています。

26年度の有害鳥獣焼却実績は、留萌市134頭、増毛町45頭、小平町234頭で、ほとんどがエゾシカでした。道路などで死亡した動物200頭が焼却されました。



▲小平町に設置されている有害鳥獣焼却炉

熊本地震災害への義援金を送りました

留萌市議会では、6月7日開催の第2回留萌市議定会定例会において、4月14日から連続して発生した熊本県および大分県で地震により、犠牲となった方への黙祷を捧げ、被災地の一日も早い復興を願いました。

また、留萌市議会議員で構成される留萌市議会議員会では、被災者の方々への支援として、6月9日、九州市議会議長会を通じ、義援金20万円を送りました。

いまだ余震とはいえませんが、一刻も早い地震の収束を願うとともに、今なお避難生活を余儀なくされている被災者の方に心よりお見舞い申し上げます。

昨年、国に交付金申請したものの採択されなかった「低利用魚等の商品開発研究による『稼ぐ力』強化事業」について、加工する対象や作る製品を拡大し、発展的に組み直す考えはないか伺いたい。

留萌市総合戦略の柱である「魅力やりがい留萌地域総合戦略」の農林水産業の振興方策として、近隣市町村を含めた広域的な取り組みとして幅広い年齢層の知恵を集め、6次産業化や産業振興を図る取り組みを構築することで地方創生推進交付金事業を活用した戦略としてはどうか。

向けた研究を、開拓などと並行しながら付加価値の高い生産体制の確立を目指して取り組んでいる。



▲60年間、市民に愛された「浪華湯」

議会基本条例の検証について

留萌市議会では、市民参加の推進により、「わかりやすく・開かれた」議会の実現に向けて議会のあり方などを明文化した「議会基本条例」を平成26年10月1日から施行しています。議会運営委員会では、常に「市民の代表」として議会のあり方を追求し、時代に即した内容の条例であり続けるために、年度の検証を行っています。

条例の主な内容として、「議会・議員の活動原則」「市民参加、議決事件の拡大」「政策立案及び提言」「予算の確保」「政治倫理」「危機管理」「検証及び見直し」などの25条に及びます。

迅速かつ適切な対応が可能となりました。第6条関係の市民参加の機会の提供は、27年11月に市内6カ所で、「市民と議会の意見交換会」を開催し、議会活動報告と市民ニーズや地域課題を把握するために意見交換を行い、一定の成果を得ました。

また、議員定数の検討については、過去の議論の経過や今後について、議長に申し入れを行い、今後の検討課題としています。

こんなことが決まりました

平成28年第2回定例会 6月7日～15日

平成28年第2回定例会が9日間の会期で開催され、平成28年度の一般会計補正予算及び各特別会計補正予算を含む議案5件、報告7件、意見書6件などを審議しました。

【議案】

- 平成28年度留萌市一般会計補正予算(第1号)
- 平成28年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成28年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成28年度留萌市下水道事業特別会計補正予算(第1号) …… 原案可決
- 留萌市教育委員会委員の任命について …… 同意

【報告】

- 留萌市土地開発公社の平成27年度決算に関する書類及び平成28年度事業計画に関する書類の提出について
- 平成28年度留萌市繰越明許費繰越計算書について …… ほか5件 …… 了

【意見書案】

- T P P 協定大筋合意に関する意見書
- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書
- 骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書 …… ほか3件 …… 原案可決

編集後記

議会では、市民の皆さんに身近で大切な多くの議案を話し合っています。

この市議会だよりは、議会の活動などを、少しでも市民の皆さんに知っていただきたいという思いから、議員自らが執筆、編集しています。

限られたスペースではありますが、市政や議会に関心を持っていただけるよう、分かりやすい誌面づくりを心がけ、今後も議会広報の向上と充実に努めて参ります。

留萌市議会のホームページにも、多くの議会の活動をお知らせしますので、併せてご覧いただければ幸いです。(笠)

かずの子条例制定検討委員会が発足

留萌市議会の新しい動きとして、6月22日、留萌市議会会議規則に基づき議長が指名した議員8人で構成する「かずの子条例制定検討委員会」が発足しました。かずの子条例は、カズノコの生産量日本一を誇る留萌のPRと、消費拡大につなげる狙いがあり、市内の学校給食の食材として積極的に利用すること、消費拡大に向けた行政や業界の役割などを明記する方向です。

検討委員会では、10月以降の議会で議員提案を目指して、行政や業界と協議を進めています。



▲市民や業界などと協議を行い条例制定を目指す

“住んでよかった、これからも住みたい”まちづくりを
議会かわら版
 H28.4月号 16.53
はじめまして、留萌市議会です!
 今年夏の参議院選挙を前に、6月に公職選挙法が改正され施行されます。選挙権年齢は【20歳】から【18歳】に引き下げられ、現役の高中生でも18歳の誕生日から選挙で投票できる**有権者**となり、皆さんの1票が日本の社会を変えていきます。
 自分たちの住んでいるまち、そして日本の将来のことをより身近に感じ、政治に関心をもっていたら、この議会かわら版を通して情報を発信していきましょう。
17歳と18歳で、何がどう違うの?
 18歳 同級生でも...
 投票 選挙運動
 投票すると同級生と5年間の公民権停止の可能性
 投票当日
 OLINE Facebook CHIP ブログ ×電子メール
 電子メールは公職選挙法で違反に該当
 新聞等をおく読み候補者を決めたら指された投票所へ行く!
 投票する一歩前まで

選挙権は18歳から

留萌市議会では、将来を担う若い世代の皆さんが政治に関心を持ってもらえるよう、市内の2つの高校の協力をいただき、留萌市議会が発行する「議会かわら版」を両校に掲示設置しています。

私たちが住むマチのことや日本の将来のことを身近に考えることができる機会となることを期待します。

平成27年度 留萌市議会議員出席状況 平成27年5月1日～28年3月31日

※平成27年度は改選期に当たるため5月からの公表となります

※(公)は公の用件による欠席
 ※(病)は入院などによる欠席
 ※(監)は監査による欠席
 ※(一)は出席対象外の会議
 ※委員会開催状況により出席回数が異なります

議員名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
土田悦也	1	18	18	18	14	18	18	18	18	14	18	18	18	18	18	18	18
澤井篤司	2	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4
笠原昌史	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
米倉靖夫	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
燕昌克	5	—	—	—	—	34	34	33	—	24	35	33	35	—	33(病1)	32(監1)	34
鶴城雪子	6	14	13	14	—	12(病1)	—	14	11	13	14	—	—	—	—	—	14
川口宏和	7	20	—	—	18	—	18	—	—	—	18	20	20	20	19(病1)	20	—
小野敏雄	8	14	14	—	14	8	—	14	13	—	14	—	—	—	13(病1)	12(監2)	—
野呂照幸	9	20	18	19	18	14(病1)	20	20	16	16	10	20	20	18(公2)	20	17(病3)	17(監2)
戸水美保子	10	2	2	2	—	2	—	2	2	1	—	—	—	—	—	—	2
珍田亮夫	11	5	—	—	5	—	5	—	—	—	5	5	4(公1)	5	5	5	—
野崎良夫	12	15	13	15	13	13(病1)	15	14	14	15	10	15	15	14	14(病1)	13	15
坂本守正	13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
村山ゆかり	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
坂本均	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
村上	16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

委員会名	日数	構成委員
四役会議	11	正副議長(野崎・村上) 議会運営委員会正副委員長(燕・川口)
委員長会議	3	正副議長(野崎・村上) 各委員会委員長(燕・野呂・村山・鶴城・珍田)
各派代表者会議	24	正副議長(野崎・村上) 議会運営委員会委員長(燕) 会派代表(珍田・小野・戸水・坂本守正)
留萌線検討対策会議	12	正副座長(野崎・村上) 会派代表(土田・小野・戸水・坂本守正・米倉)
危機対策会議	1	全議員
北海道後期高齢者医療広域連合議会議員	3	村上
留萌市監査委員	31	坂本守正
南部衛生組合議会・協議会	13	議長(村山)・笠原・鶴城・戸水
消防組合議会・協議会	8	議長(野呂)・澤井・米倉・小野・坂本茂
消防組合議会監査委員	10	坂本茂

主な各種会議の内容について

◆定例会

議案など議会で審議される事項(事件)の有無にかかわらず、定期的に市長より招集される議会で、留萌市では条例で年4回と定めています。

◆臨時会

定例会のほかに、臨時に会議を行う必要がある場合、必要な特定の事件に限り、随時市長より招集される議会のことをいいます。

◆常任委員会

市の事務に関する調査や議案、請願・陳情などの審査を行うために、条例で常設する委員会です。留萌市では第1、第2、広報の3つの委員会が設置され、議員は少なくとも1つの常任委員会に所属しています。所管より事前に配布される資料を読み込み質問事項などを整理し委員会に臨んでいます。

◆特別委員会

常任委員会のほかに、特定の問題を審査するために必要に応じて設置される委員会で、基本的に全議員で構成されます。

◆議会運営委員会

議会運営の全般について協議し、意見などの調整を図るために設けられている委員会です。審議の期間や順番、議案や質問の取扱いなどの議会の運営や会議規則、委員会条例などに関する協議、調査、審査を行います。また、議会基本条例の検証や見直しも行っています。

◆全員協議会

全議員が、将来審議される問題などの事案について、報告・協議するための会議です。

